

## 春の火災予防運動が始まります

### 3月1日(日)～7日(土)

#### 「うれしいね 防火で笑顔の人と町」(26年度東京消防庁防火標語)

3月1日(日)～7日(土)の1週間、全国一斉に「春の火災予防運動」が行われます。

この運動は、防火防災に関する意識や防災行動力を高めるとともに、火災の発生を防止し、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊厳生命と貴重な財産を守ることを目的としています。

詳しくは東久留米消防署予防課防火査察係 ☎471-0119(内線520) または防災防犯課 ☎470-7769へ。



▶27年春の火災予防運動PR用ポスター

#### 26年中の火災状況

26年中に東京消防庁管内で発生した火災は、4801件でした。火災種別ごとに見ると、建物火災は2997件、車両火災は332件、船舶火災は2件、林野火災は5件、治外法権は1件、その他火災は1464件となっています。火災による死者は94人で、前年と比べ7人増加しています。

※数値は速報値です。

#### 調理中の火災に気を付けましょう

26年中、市内だけが人が多く発生した火災の原因は、ガスストーブ関連で、使用中に

「放置する」「忘れる」「着衣に着火する」などによるものです。着衣に着火したケースでは、けがをしたり、亡くなった方もいますので、次のことに注意しましょう。

①こんろの火が鍋などの底から、はみ出さないように火力を調節しましょう

②調理をするときは、マフラーやストールを外しましょう

#### 住宅火災の出火原因

住宅火災の出火原因ワースト1位は「ガスストーブ」など、2位は「たばこ」、3位は「放火」、4位は「電気ストーブ」となっています。火の取り扱いには十分注意しましょう。

たばこの吸い殻は適切な方法で捨てましょう

市内では、「吸い殻の不始末」「喫煙時の火源落下」など、たばこの不始末による火

#### 住宅用火災警報器を設置しましょう

22年4月1日から全ての住

家が多く発生しています。吸い殻はたばこにこまめに捨てるようにしましょう。また、吸い殻を捨てる際は水につけると、完全に消えていることを確認してから捨てましょう。

ストーブの周りに物を置かないようにしましょう

ストーブから出火した火災のうち、約7割が電気ストーブから発生した火災です。就寝中の寝返りなどにより寝具が触れて火災になるケースや、ストーブで洗濯物を乾燥するなど、暖房以外の目的で使用したことが原因で火災になるケースもあります。ストーブの周りは常に整理し、カーテンなど燃えやすい物の近くでストーブを使用しないようにしましょう。また、その場を離れるときや寝るときはストーブを消す習慣を付けましょう。

#### 家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう

近年発生した地震被害では、負傷者のうち3割～5割が、家具類の転倒・落下・移動によるもので、直接当たってけがをするだけでなく、つまずいたり、避難通路をふさぐなどの危険をもたらします。

自分や家族のけがを防止し、避難障害を防ぐためにも、家具類の転倒・落下・移動防止対策を行いましょう。

◎壁に固定する方法

転倒・落下・移動対策の基

「放置する」「忘れる」「着衣に着火する」などによるものです。着衣に着火したケースでは、けがをしたり、亡くなった方もいますので、次のことに注意しましょう。

①こんろの火が鍋などの底から、はみ出さないように火力を調節しましょう

②調理をするときは、マフラーやストールを外しましょう

家が多く発生しています。吸い殻はたばこにこまめに捨てるようにしましょう。また、吸い殻を捨てる際は水につけると、完全に消えていることを確認してから捨てましょう。

ストーブの周りに物を置かないようにしましょう

ストーブから出火した火災のうち、約7割が電気ストーブから発生した火災です。就寝中の寝返りなどにより寝具が触れて火災になるケースや、ストーブで洗濯物を乾燥するなど、暖房以外の目的で使用したことが原因で火災になるケースもあります。ストーブの周りは常に整理し、カーテンなど燃えやすい物の近くでストーブを使用しないようにしましょう。また、その場を離れるときや寝るときはストーブを消す習慣を付けましょう。

本は「ねじ」での固定です。家具を固定する対象は壁下地の柱などです。ねじは長めのものを使用し、しっかりとねじ込みます。

◎ポール式器具やストッパー式器具の取り付け方法

ポール式器具は、家具の両側の側板部の壁側奥に取り付けます。取り付けには、天井に十分な強度が必要です。ストッパー式器具は、家具の端から端まで敷きます。

◎ガラス飛散防止フィルムを貼る方法

ガラスの破損や収納物の飛び出しを防止するには、飛散防止フィルムが効果的です。ガラス戸の両面に貼ることで、効果が高くなります。片面に貼る場合は、外側のガラス面に貼ってください。

◎扉開放防止器具の取り付け方法

扉開放防止器具には、粘着タイプやチェーンタイプ、ねじで固定する掛け金タイプなどがあります。重量が大きい収納物が入っている場合は、ねじ固定できるものを取り付けましょう。

本は「ねじ」での固定です。家具を固定する対象は壁下地の柱などです。ねじは長めのものを使用し、しっかりとねじ込みます。

◎ポール式器具やストッパー式器具の取り付け方法

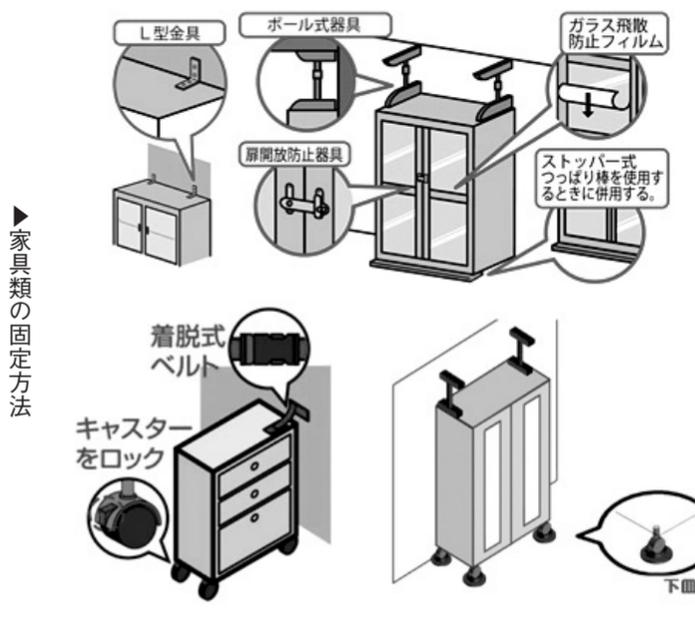
ポール式器具は、家具の両側の側板部の壁側奥に取り付けます。取り付けには、天井に十分な強度が必要です。ストッパー式器具は、家具の端から端まで敷きます。

◎ガラス飛散防止フィルムを貼る方法

ガラスの破損や収納物の飛び出しを防止するには、飛散防止フィルムが効果的です。ガラス戸の両面に貼ることで、効果が高くなります。片面に貼る場合は、外側のガラス面に貼ってください。

◎扉開放防止器具の取り付け方法

扉開放防止器具には、粘着タイプやチェーンタイプ、ねじで固定する掛け金タイプなどがあります。重量が大きい収納物が入っている場合は、ねじ固定できるものを取り付けましょう。



▶家具類の固定方法

#### 《今年度の主な内容》

- ・市民税都民税所得税の申告書は3月16日(月)までに提出を
- ・第1回市議会定例会を開催します
- ・自転車等駐車場の随時利用登録を先着順で受け付けます
- ・交通安全宣済「ちよこっ」と兵済「臨時受付窓口」を設置します

2面  
3面  
4面  
6面



詳しくは管財課管財係 ☎470-7718へ。

#### 市役所本庁舎でシエイクアウト訓練を実施します

シエイクアウト訓練とは、をとりかかるといって行う、防災意識の向上を目的とした2008年にアメリカで始められた新しい形の訓練です。

今年も東日本大震災が発生した3月11日を迎えるに当たり、市職員の防災に対する意識の向上を図る契機として市役所本庁舎内で実施します。

【日時】3月11日(水) 午後1時

#### 市内一斉防災訓練を行うってみませんか

今年度は東日本大震災から4年、阪神・淡路大震災から20年目の年です。南関東でマグニチュード7クラスの首都直下型地震が発生する確率は30年以内に70%とされているため、震災対策の第一歩は、いち早く身の安全を確保することです。東久留米消防署では、いつでも、どこでも、だれでも参加できる「市内一斉防災訓練」の実施を呼び掛けています。「身の安全を守る」行動

を身に付け、大地震に備えましょう。

【実施日時】3月11日(水) 午後2時46分(東日本大震災発生時間)

【実施場所】参加する皆さんがその時刻にいる場所(家庭・職場・学校など)

【訓練内容】次の①～③の簡単な訓練です

①「DROPP」姿勢を低く(ドロップ)

②「COVER」(頭や体をカバー)

③「HOLD ON」(動かない)